

11/28 火

中ア変異株「懸念」指定

WHO 命名「オミクロン」

【ジョネー・共同】世界保健機関(WHO)は26日、南アフリカなどで確認された新型コロナウイルスの新たな変異株を、最も警戒レベルが高い「懸念される変異株(VOC)」に指定し、「オミクロン株」と命名した。指定により世界的な警戒対象となり、監視態勢が強化される。

9カ国となり、監視態勢が計9カ国となりた。

【4回に表層深層】オミクロン株の確認により、欧米を中心にアフリカ南部からの渡航を制限する動きが拡大するなど各國は厳戒態勢に入った。日本政府も水際対策強化の対象として、新たにザンビアなどアフリカ3カ国を追加。南アと近隣5カ国を含めて計9カ国となりた。

WHOは26日の専門家による協議で、オミクロン株について「数多くの変異が生じており、いくつかの変異は大変懸念されるものだ」と指摘。現時点で判明している科学的根拠から「他のVOCと比較して、再感染の危険性が増していく場合は変異に対応した修正ワクチンの開発などを急ぐ」と表明した。

南アのほか、英国、香港、イスラエル、ベルギー、ホツワナなどでも確認されている。ロイター通信によると、ドイツとチエコの保健当局者が27日、それぞれの国でオミクロン株とみられる症例を確認したと明らかにした。24日に南ア当局が初めてWHOに報告。9日に採取した検体が初の確認

主流となつてゐるデルタ株とオミクロン株を含め5種。

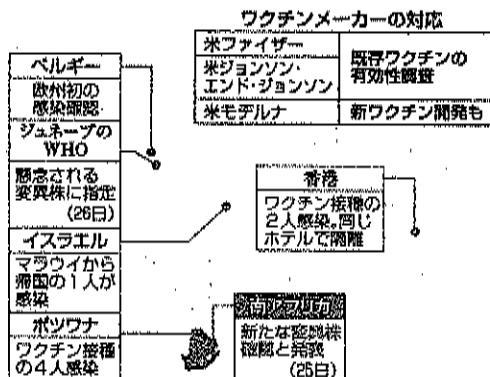
日本の国立感染症研究所によると、感染に関わる「スパイクタンパク質」に32カ所の変異が生じており、「細胞への侵入しやすさに関連する可能性がある」としている。

新型コロナウイルス「オミクロン」

1/28 木

アフリカ由来 変異再び

コロナ変異株「オミクロン」を巡る動き



表層
深層

株を発見したが、それが何であるかは未だ明確ではない。

新型コロナウイルスの新規毒株「オミクロン」に世界が警戒を強めた。特徴はほぼ不明だが、アルタ株と同じ感染力が幾十倍、ワクチン効果を低下させる懸念だ。ワクチン接種の遅れが発達国でまたアフリカで感染が加速し、危険なウイルスの「おつかい」になったのか。国際社会はワクチンの公平分配を急ぎ、保健医療が脆弱な地域を巡回して感染拡大を防ぐ努力がかかる。

【世界に本音】

南アフリカ・ヨハネスブルグ郊外で、新型コロナワクチン接種を受けた女性=10月21日(A.P.=共同)



△空港検査が
11日、南アフリカ航空便
がある旅客が新規に到着
し、ホテルで宿泊の部屋で隔
離を始めた。新型コロナ感
染を疑う症状はなかった
が、2回後の検査で陽性とな
り、感染したのはオミクロン
株。2人のウイルス遺伝子

も一致した。隔離出で検査
がないはずの2人。南アフリ
カのサーシカルマスクを
着けずドアを開けて壁
間に立つ。壁間に立つ間

大きな感染の波を経験し
た。7月をピークとする最
近の波はアルタ株によるものだったが、この新規毒
株の拡大は警戒が高ま
る。周囲の空気が廊下に広が
り、換気の悪い部屋ではすこ

く、ベッド、米大統領は
「初回接種や追加接種がま
た、抗体が形成されるかのよ
うに警戒しなさい」と
述べて警戒を強めた。

ワクチン遅れ 看過のつけ

向かいの部屋の看護師につ
いて、「オミクロンが感染
した。住職が感染となり
アルタ株を感染するかのよ
うに警戒しなさい」と
のつぶやきが見られた。

世田谷保健課(3WHO)
などによる「オミクロン」
には約50万件の数の遺
伝子変異がある。特に人間
の細胞に侵入するため必
要の「スパイクタンパク質」
には80以上あり、既知の変
異株以上に感染しやすい恐
れが指摘された。

△空港検査が
11日、南アフリカ航空便
がある旅客が新規に到着
し、ホテルで宿泊の部屋で隔
離を始めた。新型コロナ感
染を疑う症状はなかった
が、2回後の検査で陽性とな
り、感染したのはオミクロン
株。2人のウイルス遺伝子

も一致した。隔離出で検査
がないはずの2人。南アフリ
カのサーシカルマスクを
着けずドアを開けて壁
間に立つ。壁間に立つ間

大きな感染の波を経験し
た。7月をピークとする最

近の波はアルタ株によるものだったが、この新規毒

株の拡大は警戒が高ま

る。世界に広がった「オミクロン」が感染した人も再感染の危

険が増したかもしない」と
のつぶやきが見られた。

米のローリー・ホーリンズ
博士は2人の回復速度を
見て、「ウイルスの毒性が
弱いのか」「免疫が強

いた」と述べた。

米のローリー・ホーリンズ
博士は2人の回復速度を
見て、「ウイルスの毒性が
弱いのか」「免疫が強

いた」と述べた。

「オミクロンの新規毒株は
まだ、住職が感染となり
アルタ株を感染するかのよ
うに警戒しなさい」と
のつぶやきが見られた。

世田谷保健課(3WHO)
などによる「オミクロン」
には約50万件の数の遺
伝子変異がある。特に人間
の細胞に侵入するため必
要の「スパイクタンパク質」
には80以上あり、既知の変
異株以上に感染しやすい恐
れが指摘された。

△空港検査が
11日、南アフリカ航空便
がある旅客が新規に到着
し、ホテルで宿泊の部屋で隔
離を始めた。新型コロナ感
染を疑う症状はなかった
が、2回後の検査で陽性とな
り、感染したのはオミクロン
株。2人のウイルス遺伝子